

SNS規制と子ども

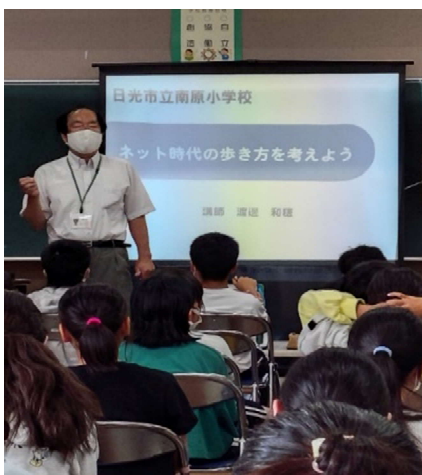
～日常がスマホ漬けでいいのか～

夏休み中、子どもたちがインターネットに費やした時間はどのくらいだったのでしょうか。各家庭でスマホ使用の決まりやルールを守って健全に（安全に）利用できたでしょうか。誹謗中傷やいじめ、闇バイトで犯罪に巻き込まれそうになったなどの問題が無かったですか。

世界ではSNS利用を禁止する法律が執行されています。オーストラリアは昨年12月、16歳未満のSNS利用を禁止する法律が成立しました。欧米でも、ネット利用を制限する動きが相次いでいます。



R7・6・18 落合東小「ネット時代の歩き方講習会」



R7・6・25 南原小「ネット時代の歩き方講習会」

日本では、愛知県豊明市で「スマートフォン等」の使用を1日2時間以内とすることを目安にした条例が市議会で可決、成立しました。市に提出された意見の内7割は反対意見でした。「日常がスマホ漬けでいいのか」、この条例が「スマホとの付き合い方」考え直すきっかけになりました。

栃木県が実施した「インターネットおよびゲームに関連する依存に係る調査」で「ゲーム依存」の疑いがあると判定された県内の小中高生の割合は13.1%でした。不登校や睡眠障害、家庭内暴力の原因になるとも言われています。

仮に日本の法律で16歳未満のSNS利用が禁止や規制された場合、世の中はなるのでしょうか。禁止や規制に至らないためにどのようなことを心掛けていけばよいかを考えてみましょう。

☆子どものSOSサインを見逃さない☆

SNSのマイナス面が多いことは分かっていますが、家庭や学校とは違った居場所を見いだしている子どももいます。ネットへの逃避は単なる問題行動ではなく、「安心を求める行動」として理解することが大切です。問題は大人の自覚と子や孫への伝え方です。頭ごなしに制限や禁止をしても効果はなく、かえって子どもたちに大切な居場所やストレスを和らげる手段を奪ってしまうことにつながります。過剰な使い過ぎによる悪影響を最小限に抑えられるよう調整していくことが重要です。

《家庭ができることは》

- ・「どんなときにネットを使うと安心か」を親子で話し合い、その時間は自由に使うことを尊重するだけでも、子どもは保護者から「理解されている」という感覚を持ちやすくなります。
- ・ネット以外にも安心できる居場所や活動（家族の団らん、スキンシップ、外遊び、趣味など）を普段より多くできるようにすることも重要です。
- ・子どものリテラシー（知識や判断力）を高めることが必要です。

少年指導委員分散型研修は本年も継続しています！



R7.6.30
大沢中学校
『喫煙防止教室』

R7.7.2
日光明峰高等学校
『交通安全教室』
『薬物乱用防止教室』



♡ 日光市少年指導委員の活動の様子です ♡

東照宮例大祭



弥生祭例大祭



日光花火大会



鬼怒川龍王祭



イオン今市店



日光花火大会

栃木県青少年指導委員会連絡協議会が今年度限りで廃止となります。日光市少年指導委員会石川会長（後列右）と齊藤副会長（後列左）が「栃木県少年の主張発表上都賀地区大会」に県の事業に携わる最後の任務としてご尽力されました。長い間ありがとうございました。

